

講義名	教養特講（健康の経済学）		
科目区分	教養科目		
担当教員	中島 孝子		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 1時限	授業形態	
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメント / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング / 2014年度 サービス産業学部		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
2006年度の健康保険法改正では、初めて予防の概念が導入されました。本科目では医療制度に加え、予防および健康を経済学の視点から考えます。

到達目標
日本の医療制度の概要、日本の医療制度における今日の問題（高額医薬品、救急車の利用、医療提供における偏りなど）について理解し、それらの解決策を考える。合法的な薬物であるたばこについて、がんをはじめとする多くの生活習慣病の「予防」において禁煙は重要であること、および若年者の喫煙開始をどのように防ぐかについて理解する。予防に関し、がんおよびがん予防について理解し、予防と医療費の問題について理解する。日本人の死亡原因を概観し、終末期医療のありかたについて考える。

提出課題
提出課題として宿題や小テストを課すことがあります。詳細は授業中に指示します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
課題提出後、解説や講評を行います。

評価の基準
成績は100点満点で評価し、60点以上が合格です。配分は定期試験70%、平常点30%（提出課題を含む）です。昨年は履修登録者のうち、75.2%が定期試験を受験し、受験者の96%が合格しました。

履修にあたっての注意・助言他
内容について、難しい点やわかりにくい点がある場合には、オフィスアワー等を利用して積極的に質問をしてください。

教科書
.使用しない。

プリント資料及び参考文献
授業ではプリント資料を配付します。以下は、本科目の履修において有用な文献です。 康永英生「健康の経済学」中央経済社 2018年 河口洋行「医療の経済学（第3版）」日本評論社 2015年 中井祐之「大学生のための禁煙講座」牧歌舎 2006年

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 日本の医療制度 検査（1）検査の必要性 検査（2）賢く選ぶ 救急車（1）利用の現状 救急車（2）有料化の是非 日本に病院が多い理由（1）国際比較 日本に病院が多い理由（2）日本の特徴と問題点 たばこ健康 たばこと合理的意思決定（1）喫煙の実態 たばこと合理的意思決定（2）喫煙の意思決定 がんを防ぐ（1）がんとは何か がんを防ぐ（2）生活習慣 がんを防ぐ（3）がん検診 予防と医療費 日本人のおもな死因、終末期医療

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
授業後、復習をしてください。1回の授業で4時間が目安です。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
レスポンスを用いてアンケートなどを実施します。

実務経験の有無及び活用

備考